

- テーマ -

「ぼけますから、よろしくお願ひします。」

～認知症になっても、その人らしく暮らすには？～

©萩庭桂太

講師

のぶとも なおこ
信友 直子 氏

(ディレクター・映画監督)

プロフィール

1961年 広島県呉市生まれ。

コピーライターや番組制作の道を経て、2009年に自身の闘病を記録した「おっぱいと東京タワー～私の乳がん日記」を発表し、ニューヨークフェスティバル銀賞・ギャラクシー賞奨励賞などを受賞。

2010年に独立してフリーディレクターに。北朝鮮拉致問題や、若年性認知症など社会的なものから市井の人の人間ドキュメンタリーまで様々なものをテーマに、ドキュメンタリー番組を100本以上制作。

2016年からフジテレビ「Mr.サンデー」内で放送された、自身の父母を被写体とした「娘が撮った母の認知症」が大きな反響を呼び、劇場公開までつながった。2018年に『ぼけますから、よろしくお願ひします。』で映画監督デビュー。

令和元年度文化庁映画賞・文化記録映画大賞など数々の栄誉に輝く。2022年には続編映画を公開した。



©「ぼけますから、よろしくお願ひします。」製作・配給委員会

令和8年

1月13日(火)

14:00～15:30

(13:30 開場)

座間市総合政策部人権・男女共同参画課人権・男女共同参画係
電話 : 046-252-8087
FAX : 046-252-0220
Mail : jinken@city.zama.kanagawa.jp

場所

サニープレイス座間 多目的室
(定員 100名)

※手話通訳・要約筆記・保育 あり

対象

県内在住者
県内在勤、在学者

申込

電話/FAX/メール/LINE
または直接窓口まで
※詳細は裏面へ
※11月9日(日)～申込受付開始

「ぼけますから、よろしくお願ひします。」

～認知症になっても、その人らしく暮らすには？～

のぶとも なおこ

講師 信友 直子 氏

1961年 広島県呉市生まれ。父・良則、母・文子のもとで一人っ子として育つ。

1984年 東京大学文学部英文科卒業。同年、森永製菓に入社し社内コピーライターに。

1986年 制作会社テレパック入社、テレビ番組制作の道へ。2010年に独立してフリーディレクターに。

2018年には『ぼけますから、よろしくお願ひします。』で映画監督デビュー。

著書に、映画の舞台裏を描いた映画と同名の2冊のほか、絵本「おとうさんは103さい」(さ・え・ら書房)、

「あの世でも仲良う暮らそうや 104歳になる父がくれた人生のヒント」(文藝春秋)などがある。

現在は、105歳になった父と呉市の実家で同居しつつ、認知症介護や人生会議をテーマにした講演会で全国を飛び回る毎日。くれ観光特使と、呉市総合計画審議会委員も務める。

FAX参加申込用紙

▼メール



▼市公式 LINE



座間市公式 LINE の
「人権啓発講演会」
からもご予約可能です。

代表者 (ふりがな) お名前		電話番号 または FAX番号	*日中連絡の取れる番号 — —
(ふりがな) お名前		電話番号 または FAX番号	*日中連絡の取れる番号 — —
(ふりがな) お名前		電話番号 または FAX番号	*日中連絡の取れる番号 — —

*満員になった場合等、当日受付にてお名前を確認させていただく場合がございます。

*複数名でお申込の場合でも、参加される方全員のお名前、電話番号またはFAX番号をご記入ください。

担当：総合政策部人権・男女共同参画課

TEL: 046-252-8087

FAX: 046-252-0220

会場までの交通手段

【徒歩】

小田急小田原線「相武台前駅」駅北口から徒歩約20分

【バス】

相武台前駅バスのりばから、神奈中バスで約5分

1番のりばから乗車

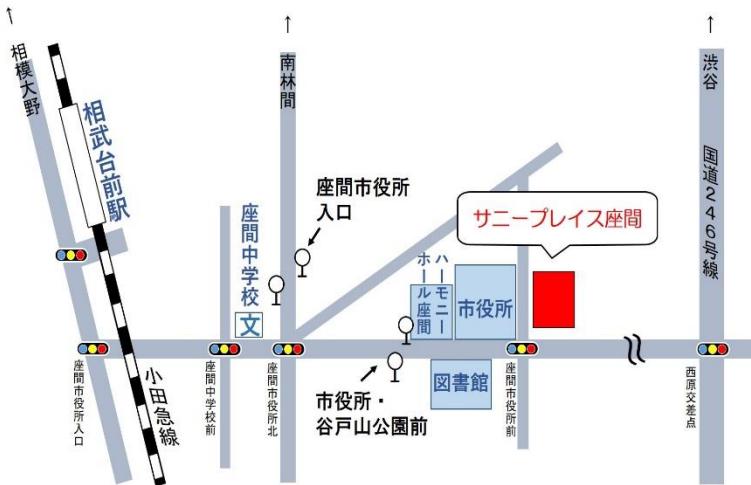
▲台04系統・座間四ツ谷行(立野台・座間駅経由)

▲海10系統・海老名駅東口行(立野台・座間駅経由)

△「市役所・谷戸山公園前」下車

◆台12系統・南林間行(ひばりが丘経由)

◇「座間市役所入口」下車



※なるべく公共交通機関をご利用ください